

ああ、 結婚！

—婚活日記—

第35回

黒田長宏

<2025年5月11日>

警察署に行った。悪いことはしていない。されていたのだ。対人援助学マガジンに書いたマッチング相手の数名がロマンス詐欺師だということによりやく気づかされてきた。

警察官の言うのには、はっきりと詐欺です。と言うのだ。大きく労力を費やし、傷ついている。

<5月14日>

事件発覚の翌日は、詐欺ショックをネタに職場の数人に一日中ハイになってしゃべっていたが、3日も経過すると、またマッチングアプリを再開している。某マッチングアプリをいったん休会か退会したので、一人マッチング

したからと(詐欺師だったのだが)、断りを入れた人から連絡があった。

詐欺師と同じ日にマッチングしていた人だったが、まさか連絡が来るとは思わなかった人だし、メッセージ交換のデータが残っているとも思わなかったので意外だった。別のアプリはデータが残っていて、有料会員に戻れば、普通の戻れるとわかっていたのだが、そこも2人残っているが、1人は反応が長く無くなってしまったが、あと1人は真面目に返信は来るが、さよなら模様(昔そういう歌があったな)ではある。それに加えての新たな人を発掘だ。

<5月29日>

不思議なもので成就してはいないが、詐欺師のよくくるアプリを辞めて、違うアプリから2人とメール交換状態にはなっている。

<6月11日>

58回目の誕生日。2人、マッチングアプリからメール交換しているが、進展なし。来るだけでありがたく思うべきだろう。

<7月14日>

ようやく言うべきか。まだどうなるかわからないが、何事もそうだが、パートナーズという出会いアプリで思わず、ユーチューブ共同制作者になってくれた人ができた。『マーサとクッピーのチャレンジトーク』という名前で既にアップロードが始まった。婚約というような方向ではないスタートとはなったが、LINE友達として2か月過ぎて、実際ユーチューブ友達みたいに会ったので、ありがたいことだと思う。

<7月21日>

はやくも、YouTube コンビ、『マーサとクッピーのチャレンジトーク』の2度目のロケをした。

ビギナーズラックなのか、動物好きの相方マーサが取材したいという、フトアゴヒゲトカゲとレオパードゲッコーという、私にとって初めて聞く名前の小動物が、名の知れた動物園にもいないのに、

今年4月開校の動物と触れ合うことで人間性を育むというフリースクール、茨城県石岡市にある、

アジア動物ふれあい学園にいくことを知り、取材できることになった。なんだかマーサが導かれたのか、思いもよらぬうまくいった展開だった。この YouTube は Google 検索でも YouTube からでも、

YouTube からは当然ではあるが、番組名を入れて検索すれば出てくる。短信でも同じことを書いてしまうかも知れない。その学園も対人援助ということではその通りの場所ではないかと思った次第である。そして私らの YouTube も。マーサとは婚活で応募していたつもりが YouTube チームになってしまった。となると想像される通り、私がクッピーというわけである。

<8月4日>

昨日、YouTube『マーサとクッピーのチャレンジトーク』の3度目のロケを行った。後付けだが、スタートアップで増やしたとして、本音は今後は経済的事情で(交通費とか)月1回のペースでロケを計画。

その代わりでもないが、LINE ビデオ動画使用で番組を増やす計画。

ここに掲載させてもらってからずいぶん経過したようだ。おまけに去年は死にかけた。

思弁的になってしまった時もあった。別人の文章のようでもある。(それはないか)

自分の結婚難解決のために、婚活アプリで知り合った人となぜか YouTube の共同制作者になってしまっているが、対人援助という意味では、相手の好きなウーパールーパーの録画を増やせていたり、対人援助学の学で言うなら、独学のような進め方をしているようだ。この文章も含め、私のこれまでの行為は対人援助学に対してなんなのだろう？何冊かの本は買っただけで…。申し訳ありません。それに、自分でこうして書かせてもらっているのに、最初はいくつか読んでいたのに、対人援助学マガジンも読んでいません。重ねて申し訳ありません…。

<2025年5月11日>

警察署に行った。悪いことはしていない。されていたのだ。対人援助学マガジンに書いたマッチング相手の数名がロマンス詐欺師だということにより気づかされてきた。

警察官の言うのには、はっきりと詐欺です。と言うのだ。大きく労力を費やし、傷ついている。

<5月14日>

事件発覚の翌日は、詐欺ショックをネタに職場の数人に一日中ハイになってしゃべっていたが、

3日も経過すると、またマッチングアプリを再開している。某マッチングアプリをいったん休会か退会したので、一人マッチングしたからと(詐欺師だったのだが)、断りを入れた人から連絡があった。

詐欺師と同じ日にマッチングしていた人だったが、まさか連絡が来るとは思わなかった人だし、メッセージ交換のデータが残っているとも思わなかったのが意外だった。別のアプリはデータが残っていて、有料会員に戻れば、普通の戻れるとわかっていたのだが、そこも2人残っているが、1人は反応が長く無くなってしまったが、あと1人は真面目に返信は来るが、さよなら模様(昔そういう歌があったな)ではある。それに加えての新たな人を発掘だ。

<5月29日>

不思議なもので成就してはいないが、詐欺師のよくくるアプリを辞めて、違うアプリから2人とメール交換状態にはなっている。

<6月11日>

58回目の誕生日。2人、マッチングアプリからメール交換しているが、進展なし。来るだけでありがたく思うべきだろう。

<7月14日>

ようやくと言うべきか。まだどうなるかわからないが、何事もそうだが、パートナーズという出会いアプリで思わず、ユーチューブ共同制作者になってくれた人ができた。『マーサとクッピーのチャレンジトーク』という名前で既にアップロードが始まった。婚約というような方向ではないスタートとはなったが、LINE 友達として2か月過ぎて、実際ユーチューブ

友達みたいに会ったので、ありがたいことだと思う。

<7月21日>

はやくも、YouTube コンビ、『マーサとクッピーのチャレンジトーク』の2度目のロケをした。

ビギナーズラックなのか、動物好きの相方マーサが取材したいという、フトアゴヒゲトカゲとレオパードゲッコーという、私にとって初めて聞く名前の小動物が、名の知れた動物園にもいないのに、

今年4月開校の動物と触れ合うことで人間性を育むというフリースクール、茨城県石岡市にある、

アジア動物ふれあい学園にいいことを知り、取材できることになった。なんだかマーサが導かれたのか、思いもよらぬうまくいった展開だった。この YouTube は Google 検索でも YouTube からでも、

YouTube からは当然ではあるが、番組名を入れて検索すれば出てくる。短信でも同じことを書いてしまうかも知れない。その学園も対人援助ということではその通りの場所ではないかと思った次第である。そして私らの YouTube も。マーサとは婚活で応募していたつもりが YouTube チームになってしまった。となると想像される通り、私がクッピーというわけである。

<8月4日>

昨日、YouTube『マーサとクッピーのチャレンジトーク』の3度目のロケを行った。後付けだが、スタートアップで増やしたとして、本音は

今後は経済的事情で(交通費とか)月1回のペースでロケを計画。

その代わりでもないが、LINE ビデオ動画使用で番組を増やす計画。

ここに掲載させてもらってからずいぶん経過したようだ。おまけに去年は死にかけた。

思弁的になってしまった時もあった。別人の文章のようでもある。(それはないか)

自分の結婚難解決のために、婚活アプリで知り合った人となぜか YouTube の共同制作者になってしまっているが、対人援助という意味では、相手の好きなウーパールーパーの録画を増やせていたり、対人援助学の学で言うなら、独学のような進め方をしているようだ。この文章も含め、私のこれまでの行為は対人援助学に対してなんなのだろう？何冊かの本は買っただけで…。申し訳ありません。それに、自分でこうして書かせてもらっているのに、最初はいくつか読んでいたのに、対人援助学マガジンも読んでいません。重ねて申し訳ありません…。